

科目名 Course Name	医療用語 Medical Terminology			ナンバリング No.	D1-001		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	戸井田 睦美						
連絡方法	C-Learning で対応、または本館2階研究室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>[概要]医療機関の業務に必要な、カルテ・検査・治療等に用いられる用語や略語、人体を構成する部位の名称・構造の基礎知識を習得し、ICDコーディングによる病名登録において正確なコーディングを行う際に活かすことができるようにする。</p> <p>[到達目標]①医療用語・略語について学び、カルテに記載された疾患、症状、検査、治療等について読み取ることができるようにする。</p> <p>②人体を構成する各部位の名称と構造について学び、体系的な疾病のコーディング知識を身に付けることができるようにする。</p>						
授業の方法	テキストおよび、配布プリントを用いて解説する。理解度をはかるため、適宜小テストを実施する。カルテ症例についてグループワークやディスカッション形式で医療用語を解説させ、理解を深める。						
学習成果	L01						
	L02	カルテに記載された医療用語、略語を理解し、症状・経過・治療内容等を読み取ることができる。					
	L03	体系的な疾病のコーディング知識を身に付けることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストは実施後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	医療事務医科テキスト[医療保険制度のしくみ・医療現場での接遇マナー・診療報酬の算定ルール・レセプト点検]、医療事務医科スタディブック、医療事務ハンドブック医科(ニチイ学館) 参考資料は適時配布する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:病院事務 職歴:通算8年) 病院事務としての経験を医療用語、略語、カルテの読み取り方について説明する際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に集中して取り組んでいる。わかりにくい点は積極的に質問する。		15		
レポート/作品	レポートの提出期限を守り、自分の考えを論理的にまとめている。		10		
発表	グループごとに各テーマについてパワーポイントを用いて発表を行う。発表内容(十分な考察、発表媒体をわかりやすくまとめている)や発表態度で評価する。			25	
小テスト	復習としての小テストに的確に解答できているかを評価する。		30		
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。			20	
その他					
合計			55	45	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明・評価方法に関する説明
	事前・事後学習	特になし
2	授業内容	カルテで多用される略語を理解する。
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
3	授業内容	カルテ症例（感染症及び寄生虫症）、小テスト①
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
4	授業内容	カルテ症例(新生物) I
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
5	授業内容	カルテ症例(呼吸器系疾患) 小テスト②
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
6	授業内容	カルテ症例(血液および造血器の疾患)(循環器系の疾患)
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
7	授業内容	カルテ症例(眼および付属器の疾患)(神経系の疾患)小テスト③
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
8	授業内容	カルテ症例(消化器系疾患)
	事前・事後学習	図書館やITを利用し、専門用語や人体構造の名称を読むことができるようにしておく。
9	授業内容	興味のある人体の部位について仕組みやはたらき、代表的な病気のレポート作成
	事前・事後学習	図書館やIT利用し、人体の仕組みやはたらき、代表的な病気を調べる
10	授業内容	様々な疾患とコーディングの注意点 グループワーク①
	事前・事後学習	モデル患者のカルテをもとに、グループごとに計画を立て、発表のための準備とレポート作成を行う。
11	授業内容	様々な疾患とコーディングの注意点 グループワーク②
	事前・事後学習	モデル患者のカルテをもとに、グループごとに計画を立て、発表のための準備とレポート作成を行う。
12	授業内容	様々な疾患とコーディングの注意点 グループワーク③
	事前・事後学習	モデル患者のカルテをもとに、グループごとに計画を立て、発表のための準備とレポート作成を行う。
13	授業内容	様々な疾患とコーディングの注意点 グループワーク④
	事前・事後学習	モデル患者のカルテをもとに、グループごとに計画を立て、発表のための準備とレポート作成を行う。
14	授業内容	ICD-11 について(1)検索の仕方
	事前・事後学習	演習問題で解けなかったものを解きなおす。不明な点は積極的に質問する。
15	授業内容	ICD-11 について(2)モデル患者のカルテから病名を読み取りコーディングを行う
	事前・事後学習	演習問題で解けなかったものを解きなおす。不明な点は積極的に質問する。